

6/5/1

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2005 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

04136148   \*\*Image available\*\*  
DOCUMENT PRINTER

PUB. NO.:       05-127848   [\*JP 5127848\*   A]  
PUBLISHED:      May 25, 1993 (19930525)  
INVENTOR(s):    SAKUMA YUICHI  
APPLICANT(s):   TOSHIBA CORP [000307] (A Japanese Company or Corporation), JP  
                  (Japan)  
APPL. NO.:      03-072236   [JP 9172236]  
FILED:          January 25, 1991 (19910125)  
INTL CLASS:     [5] G06F-003/12; G06F-003/153  
JAPIO CLASS:    45.3 (INFORMATION PROCESSING -- Input Output Units)  
JOURNAL:        Section: P, Section No. 1610, Vol. 17, No. 502, Pg. 74,  
                  September 09, 1993 (19930909)

#### ABSTRACT

PURPOSE: To print out a document in a designated character size when the printing size is designated in the case of printing out the document.

CONSTITUTION: When the printing size is instructed by a write pen unit 3 while using a printing size designation part 12 provided in a CRT display 1, this instruction information is inputted to a printing part 8. While receiving the information, the respective kinds of information in a variable information part 5 and a fixed information part 6 are synthesized and transmitted through a printing size judgement part 9 to a printing size magnification post-variable information part 10. In this case, the printing size is magnified/reduced into the printing character size decided by the printing size judgement part 9. On the other hand, at a printing size magnification post-fixing information part 11, the printing size is magnified/reduced into the printing character size decided by the printing size judgement part 9. The respective kinds of information in the printing magnification post-variable information part 10 and the printing magnification post-fixing information part 11 are synthesized and outputted from an output part 7.

?

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-127848

(43)公開日 平成5年(1993)5月25日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 3/12	H	8323-5B		
	V	8323-5B		
3/153	3 1 0 D	9188-5B		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平3-72236

(22)出願日 平成3年(1991)1月25日

(71)出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72)発明者 佐久間 雄一

東京都港区芝浦一丁目1番1号 株式会社  
東芝本社事務所内

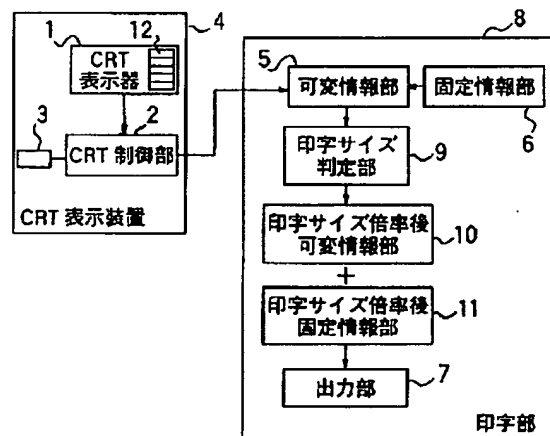
(74)代理人 弁理士 石井 紀男

(54)【発明の名称】 帳票印字装置

(57)【要約】

【目的】 本発明は、帳票印字に際し印字サイズを指定すれば、指定された文字サイズにて印字出力されるようにする。

【構成】 CRT 表示器 1 に設けた印字サイズ指定部 12 を用いて、ライトペン装置 3 にて印字サイズを指示すると、この指示情報が印字部 8 に入力される。この情報を受けて可変情報部 5 と固定情報部 6 の各情報が合成され印字サイズ判定部 9 を経由して印字サイズ倍率後可変情報部 10 に伝送される。ここでは印字サイズ判定部 9 が決定した印字文字サイズに拡大、縮小する。一方、印字サイズ倍率後固定情報部 11 では印字サイズ判定部 9 が決定した印字文字サイズに拡大、縮小する。前記印字倍率後可変情報部 10 と印字倍率後固定情報部 11 の情報は合成されて出力部 7 から出力される。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 CRT 表示器、CRT を制御するCRT 制御部、CRT 上の座標を指示する座標指示装置を備えたCRT 表示装置と、CRT 表示器からの印字要求により帳票を作成する印字部とからなる帳票印字装置において、CRT 表示器には印字サイズ指定手段を設け、印字部には前記印字サイズ指定手段により指定された印字サイズを判定する印字サイズ判定部、予め指定された固定情報部の印字文字サイズ及びCRT 制御部を経由して伝送された可変情報部の印字文字サイズの各倍率を判定された印字サイズに応じて拡大、縮小する第1、第2の各手段、前記第1、第2の各手段の合成出力を導出する出力部を備えたことを特徴とする帳票印字装置。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は帳票類を印字する際使用する帳票印字装置に関する。

##### 【0002】

【従来技術】第2図によって従来装置を説明すると、帳票印字装置はCRT表示器1とCRT 制御部2とライトペン装置3とからなるCRT 表示装置4と、可変情報部5と固定情報部6と出力部7とからなる印字部8から構成されている。そして、帳票を印字要求する場合には、ライトペン装置3によってCRT 表示器1から印字要求すると、これが印字部8に伝送され、可変情報部5と固定情報部6とが編集されて出力部7によって帳票出力がなされる。

##### 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記した従来装置では、印字要求があったとき印字文字サイズ固定の固定情報部6と可変情報部5とを用いて、帳票出力のための編集をしていたため、同一内容の帳票で印字サイズの異なる帳票を出力しようとした場合、印字文字サイズ固定の複数の固定情報部と可変情報部を準備する必要があった。

【0004】本発明は上記課題を解決するためになされたものであり、ライトペン装置を用いてCRT 表示器から印字サイズを指示すれば、指示サイズの文字によって印字可能な帳票印字装置を提供することを目的としている。

##### 【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明はCRT 表示器、CRT を制御するCRT 制御部、CRT 上の座標を指示する座標指示装置を備えたCRT 表示装置と、CRT 表示器からの印字要求により帳票を作成する印字部とからなる帳票印字装置において、CRT表示器には印字サイズ指定手段を設け、印字部には前記印字サイズ指定手段により指定された印字サイズを判定する印字サイズ判定部、予め指定された固定情報部の印字文字サイズ及びCRT 制御部を経由して伝送された可変情報部

の印字文字サイズの各倍率を判定された印字サイズに応じて拡大、縮小する第1、第2の各手段、前記第1、第2の各手段の合成出力を導出する出力部とから構成した。

##### 【0006】

【作用】CRT 表示器の印字サイズ指定手段によって印字サイズを指定すると、印字サイズ判定部によって印字サイズが判定される。この判定された印字サイズに応じて予め指定されていた固定情報部の印字文字サイズとCRT 制御部経由で伝送された可変情報部の印字文字サイズが拡大、縮小され、これらが合成して出力される。

##### 【0007】

【実施例】以下、図面を参照して実施例を説明する。第1図は本発明による帳票印字装置の一実施例のブロック構成図である。第1図において第2図と同一機能部分には同一符号を付してある。第2図との相違部分について説明すると、CRT 表示装置4のCRT 表示器1に印字サイズ指定部12を設けて、CRT 表示器1側から印字サイズを任意に指定できるようにしたこと、印字部8では伝送されてきた印字サイズを判定するための印字サイズ判定部9と、印字サイズ倍率後可変情報部10と、印字サイズ倍率固定情報部11を設ける構成とした。

【0008】次に作用について説明する。今、帳票の印字要求時に、ライトペン装置3で印字サイズ指定部12の印字サイズを指示すると、この印字サイズ情報が印字サイズ判定部9に伝送され、予め指定された印字文字サイズの倍率を判定して決定する。一方、印字情報はCRT 制御部2を経由して可変情報部5に伝送され、可変情報部5と固定情報部6の情報が合成され、印字サイズ判定部9を経由して、印字サイズ倍率後可変情報部10に伝送される。ここで印字サイズ倍率後可変情報部10では、予め指定された1種類の印字文字サイズ固定の可変情報部5を、印字サイズ判定部9が決定した印字文字サイズに拡大、縮小し、又、印字サイズ倍率後固定情報部11では、予め指定された1種類の印字文字サイズ固定の固定情報部6を、印字サイズ判定部9が決定した印字文字サイズに拡大、縮小する。印字サイズ倍率後可変情報部10と印字サイズ倍率後固定情報部11の情報は合成され、出力部7に伝送されて印字出力する。上記実施例はライトペン等の座標指示装置を用いて印字サイズを指示する方式であるため、運用者は業務の一環としてCRT 表示器1を見ながら用途に応じ、同一内容の帳票の印字サイズを指示することができる。

##### 【0009】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば帳票の印字要求時に印字サイズを指定することにより、固定情報部と可変情報部を指定された印字サイズに拡大、縮小し、印字出力することが可能となり、用途に応じた印字サイズの帳票が作成できる。

##### 【0010】

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例のブロック構成図。

【図2】 従来装置を説明する図。

【符号の説明】

1 CRT 表示器

2 CRT 制御部

3 ライトペン装置

5 可変情報部

6 固定情報部

7 出力部

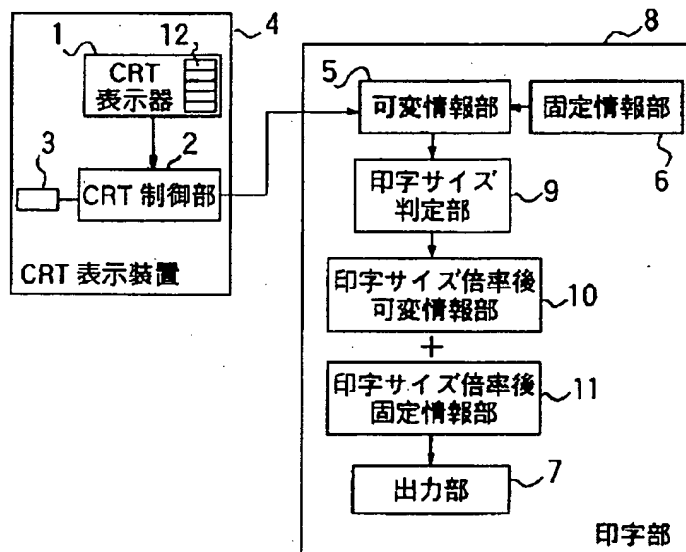
8 印字部

9 印字サイズ判定部

10 印字サイズ倍率後可変情報部

11 印字サイズ倍率後固定情報部

【図1】



【図2】

